

登所届

児童発達支援 More 責任者殿

児童氏名

病名「 」

年 月 日、医療機関「 」において、
病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登所いたします。

保護者名

印又はサイン

当施設は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

乳幼児がよくかかる下記の感染症については、登所のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登所届の提出をお願いします。なお、当施設での集団生活に対応できる状態に回復してから登所するよう、ご配慮ください。

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

病名	潜伏期間	おもな症状	登所のめやす
溶連菌感染症	2～5日	発熱、咽頭痛、嘔吐、時に掻痒感 粟粒大の発疹	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
手足口病	3～5日	感昌様症状、手足口に赤斑→水泡	医師の判断による（症状が治まり、普通の食事ができること）
りんご病 （伝染性紅斑）	10～20日	顔面赤斑特に頬部の赤斑性湿疹	医師の判断による （全身状態が良いこと）
ウイルス性胃腸炎 （ロタ、ノロウイルス等）	ロタ・・・1～3日 ノロ・・・12～48時間	発熱、嘔吐、下痢	医師の判断による（症状が治まり、普通の食事ができること）
マイコプラズマ肺炎 （感染する肺炎）	14～21日	発熱等の風邪症状、咳は徐々に激しくなる （重症の場合：呼吸困難のことあり）	医師の判断による（症状が改善し全身状態が良いこと）
ヘルパンギーナ	2～4日	高熱、咽頭痛、咽頭の水泡	解熱し食事もできて元気になったとき
RSウイルス感染症	4～8日	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	不定	小水泡が限定的に現れる 痛み、小児では掻痒感	すべての発疹が痂皮化してから
突発性発疹	約10日	高熱、3日後に全身に発疹	医師の判断による